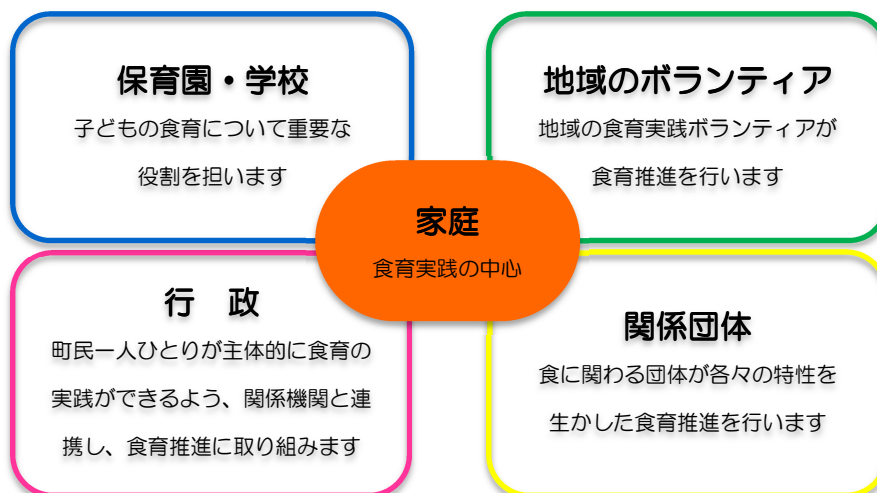


計画の数値目標

指標目標		現状値 (H29)	目標値 (H34)
毎日、朝食を食べる子どもの割合	1歳6ヶ月児	89.8%	100%
	3歳児	81.6%	100%
	小学生	H30より調査予定	100%
	中学生	90.7%	100%
食育活動年間計画を策定し、評価を行っている保育園の割合		H30より調査予定	100%
食育指導（給食含む）をしている割合	保育園	100%	現状維持
	小学校	100%	現状維持
	中学校	100%	現状維持
体験型食育を行う割合	保育園	100%	現状維持
	小学校	100%	現状維持
学校給食における地場産物を使用する割合		26.0%	30%以上
肥満者の割合	保育園（3歳以上児）	5.7%	減少
	小学生	9.8%	減少
	中学生	9.6%	減少
メタボリックシンドロームの割合	該当	21.9%	19.0%以下
	予備軍	10.4%	9.0%以下
みそ汁の塩分濃度が濃い家庭の割合		3.8%	減少
地域における食育に関する講座（年間）		76講座	80講座

計画の推進体制

各々の立場において担う役割を明確にし、互いに連携・協力しながら食育を推進します。



中能登町 保健環境課

〒929-1704 石川県鹿島郡中能登町末坂2部57番地1
TEL(0767)74-0797 FAX(0767)74-0223

毎年6月は食育月間
毎月19日は食育の日です

第2次 中能登町食育推進計画

—概要版—

平成30～34年度



中能登町では、平成25年3月に「第1次中能登町食育推進計画」を策定し、食育の推進に取り組んできました。第1次計画の評価や中能登町の食をめぐる現状から、食に関わる多くの課題解決に向けて、引き続き、町全体での取り組みを推進するため、平成30年3月に「第2次中能登町食育推進計画」を策定しました。

【計画の趣旨】

町民一人ひとりが、健康で豊かな人間性を育ていけるよう、食に関する正しい知識や基本的な食習慣を身につけ、食を選択する力を習得するとともに、生活習慣病の予防及び改善につながる食育を推進します。

【食育とは】

生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎となるべきものと位置づけるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

【食育基本法全文より】

平成30年3月

中能登町

中能登町の食をめぐる現状

1 子どもや若年世代の朝食欠食率が高い

- 毎日、朝食を食べない幼児が増加傾向にある ～町幼児健診問診結果より～
1歳半児（H24）7.2% →（H28）10.2% 3歳児（H24）6.6% →（H28）18.4%
- 若年世代の朝食欠食率が高い ～H28 県民健康・栄養調査結果より～
 - ・20歳代の男女、30歳代男の割合が非常に高い
（20代男）34.8%、（20代女）36.3%、（30代男）35.0%
 - ・欠食の理由として、時間がない、食欲がわかない、寝ていたい、食べる習慣がないなど生活習慣の見直しが必要と思われる理由が多い。

2 塩分過剰摂取の傾向がみられる

- 味噌汁やスープなどの汁物を「毎日口にする人」の割合が79.7%、そのうち「1日2杯以上」の人は33.2%
 - ちくわ等の練り製品を「よく食べる」又は「2～3回/週」の割合が64.3%、あじの開き等の干し魚は66.7%
 - 漬物、梅干しなどを「毎日口にする人」の割合が37.7%
- ～H29 塩分を多く含む食品の飲食頻度の状況実態調査より～

3 子どもの肥満が多い

- 小学生の高度肥満児割合が多い **（町）1.30%** （県）0.52% （国）0.60% ～H28 学校保健要覧より～
- 中学生の高度肥満児割合が多い **（町）1.44%** （県）0.90% （国）0.98% ～H28 学校保健要覧より～

4 メタボリックシンドロームや生活習慣病と思われる人が多い傾向

- メタボ該当 **（町）21.9%**（県）19.4%（国）17.3%、 メタボ予備軍 **（町）10.4%**（県）10.2%（国）10.7%
 - 高血圧と思われる人 **（町）31.7%**（県）23.4%
 - 高血糖と思われる人 **（町）12.0%**（県）10.1%
- ～H28 国民健康保険特定健診結果より～

以上の現状を踏まえ、今後は次の重点課題を中心に取り組んでいきます。



重点課題

（1）早寝、早起き、朝ごはんの推進

毎日の朝食を食べるため、早寝・早起き等の基本的な生活習慣形成を含めた食育を推進します。

（2）地場産物の情報提供と利用促進

中能登町の地場産物には野菜類が多く、生活習慣病予防に有効です。また地域の産物を使用することで、食への感謝の心や地域の産業に関心を持つきっかけになります。地場産物を積極的にとり入れた食育を推進します。

（3）若い世代に対する食育の推進

子どもや若年世代において、朝食欠食などの課題が深刻となっていることから、若年世代の食への意識向上をはかるための食育を推進します。

（4）健康寿命の延伸につながる食育の推進

各年代に応じた食生活のあり方を町民一人ひとりが理解し、実践するための食育を推進します。

食育推進の将来像

町民一人ひとりが生涯にわたって食を考える習慣を身につけ、食を大切にできる心を持ち、心身ともに健康で、豊かな人間性を育むことが出来るよう、中能登町では食育推進にあたり、目指すべき方向（将来像）を次のとおり定めます。

（将来像）食育を通じて、健康でいきいきと暮らせる町 なかのと

施策体系

目標1 未来を担う子どもの健全な身体を培い、豊かな心を育む

（1）家庭における食育の推進

① 早寝、早起き、朝ごはんの推進

重点課題

② 5つの力を育む食育の推進

（味がわかる、いのちを感じる、選ぶ、料理ができる、元気な体がわかる）

（2）保育園、学校における食育の推進

① 体験型食育の推進

② 地域交流型食育の推進

③ 給食を含めた食に関する理解促進

目標2 地域の食を次世代に伝え、地域社会の活性化を図る

（3）伝統的な食文化の継承

① 和食の推進と次世代への継承のための取り組み

② 給食を通じた郷土料理、行事食の積極的な導入

（4）地産地消の推進

① 若い世代を中心とした農業体験活動の促進

② 地場産物の情報提供と利用促進

重点課題

目標3 町民一人ひとりが健全な食生活を実践する力を身につける

（5）個人における食育の推進

① 若い世代に対する食育の推進

重点課題

② 健康寿命の延伸につながる食育の推進

重点課題

③ 高齢者に対する食育の推進

④ その他の食育の推進

（6）食育を支える地域環境づくり

① ボランティア等の育成・活動の推進

② 食育の推進に関する情報提供